

真・魅力通信



保幼こ小中一貫コーディネーター：奥村 崇志

第2回袋井あやぐも学園幼小中一貫教育研修会 その③

～取組の真化を目指して～



前号に引き続き、6月7日（水）に行われた袋井あやぐも学園幼小中一貫教育研修会の分散会の様子を取り上げます。

「**学びづくり部**」が袋井あやぐも学園カリキュラムをもとに「**各園校で具体的にどのように取り組んでいくのか**」協議しました。

<学びづくり部より>

- 幼稚園では、遊びが学びである。遊んでいる様子をアプリで配信し、園児は感じたことを家の人に伝えている。
- 保護者に、子どもの話を「遮らずにきいてね」と伝えている。
- 5年生でコミュトレを実施している。テーマに沿って1分間話し、聞いている人がフィードバックしている。
- 中学生のロイロノートの使い方を見ることができた。思考ツールを使いこなせている。
- 19日は「トークの日」。話す力が少しずつ付いてきている。
- 生活のめあてに、「話す・聞く」を取り入れている。

		幼児期	低学年(1・2年生)	中学年(3・4年生)	高学年(5・6年生)	中学生
授業	話す	自分の思いを言葉で伝える	相手を見て聞こえる声で話す	相手にわかりやすく話す	相手の意見とつながらず話す	相手を意識して聞きたくなくなる話し方で話す
	聞く	聞くことの大切さを知り聞くとする	相手を意識して聞く	相手の話を反応しながら聞く	相手と自分の考えを比べながら聞く	相手の考えを引き出す聞き方で聞く
家庭学習	キーワード	楽しさ 家庭と一緒に	取り組み方 (型・ルール)	自学	授業とつなげて	外発的動機付け (目標・ポイント) 内発的動機付け (目標・達成感・満足)
		主体的に学習する態度が身に付いている				

もっと話したい話を聞いてもらいたい

◎自覚をもてるようにする。
-声掛け、

◎思いを聞いてもらえると
いう安心感を築いたら
念ようにする。
-うなずき
-ほほえみ、

◎信頼関係を築けるように
する。

◎言葉でのやりとりの仕方
を覚かせるようにする。

【年長】
友達に思いを伝えたり伝え合う喜びを味わったりする。
-グループや全体で話し合う場を経験。

【年中】
気の合う友達に思いを言葉で伝える。
-教師の仲立ちを得ながら、
気の合う友達に思いを伝える経験。

【年少】
自分の思いを言葉で出す。
-泣く・叩く等の言葉以外の表現から、
言葉での伝え方を知り言う経験。

思いを素直に表現するための根っこづくり
(嬉しい・楽しい・悲しい・困った)

年長…小グループでの相談。
年中…終りのひとときに絵本の読み聞かせ。

目標とする姿 ◎教師の援助 ・具体的な手立て、

- ・幼小の積み重ねが、中学校につながっている。 中1の4月に自分たちで話合いができています。
- ・ステージごと、モジュールの時間に、「話す・聞く」の指導をしている。→レベルをはっきりさせている。
- ・分からないところを聞き合う姿が見られた。 →聞くための雰囲気は大切
- ・学習委員会の活動として、学級ごとに「聞く姿勢」を振り返る機会を設けた。
- ・活動の切り替えを大切にしたい。「やめなさい」以外の切り替えスイッチをもっていたい。
- ・学習活動でできていることを日常生活でも、できるようにしたい。

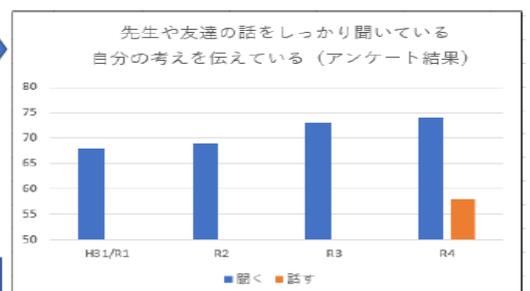
【P】はなしかた・ききかたのステップを活用



【D】各学年に合わせて指導

- 例
- 低学年 「ききかた」あいうえお
 - 中学年 「相手の話をうなずいて聞こう」
 - 高学年 「自分の考えをもって聞こう」
- 【A】次の目標を児童と相談
- 例
- 低学年 「はなしかた」かきくけこ
 - 中学年 「言葉で反応できるようにしよう」
 - 高学年 「相手の言いたいことを考えながら聞こう」

【C】児童アンケートから、児童の達成感を確認



【Training】

月に一度、「話す・聞く」力が高まることを期待してスキルトレーニングを行っている。
活動例: 聖徳太子ゲーム、シルエット当て、読み聞かせクイズ、セリフを想像しよう!



※ 袋井あやぐも学園のあゆみは、「ホームページ 学園情報」を御覧ください。